

【報道関係各位】

2020年9月30日

株式会社 ALE

株式会社 ALE がリブランディングを実施

新たな企業ステートメントやビジュアルで、より広い層への宇宙・科学に対する興味関心を喚起

「宇宙を、好奇心に動かされた人類の、進化の舞台にする」をビジョンに、「科学を社会につなぎ 宇宙を文化圏にする」をミッションとして掲げる株式会社 ALE（東京都港区、代表取締役社長／CEO：岡島礼奈、以下 ALE）は、この度ブランディングの強化を図り、WEB サイト、コーポレートステートメントやそれを表す各種ビジュアルを一新しました。

設立 10 年目に突入した ALE は、人工流れ星をはじめとした人々の好奇心を育む世界初の“宇宙エンターテインメント”と、気候変動の解明に貢献する“中層大気データの蓄積と活用”を企業活動の柱とし、“エンターテインメント”と“科学”の 2 つのアプローチで人類の持続的発展への貢献を目指しています。

宇宙や科学は一見、私たちの生活と関係ないもの、専門的で難しいものと思われがちです。しかし私たち ALE は、「宇宙には人類が地球で持続的に暮らしていくための科学知識が無限に詰まっている」と考えています。ALE を形作るこの理念や価値観、企業カルチャー、そしてその先にある活動内容を一層分かりやすく表現する為に、ブランド要素を再構築いたしました。今後はこれらを通じ、ミッションのさらなる達成に向け宇宙の美しさや科学の面白さをより多くの方々に広くお伝えしてまいります。

■WEB サイト（本日リニューアル）

<http://star-ale.com/>

■コーポレート ステートメント & ビジュアル

ビジュアルのモチーフはピンボール。ALEの「真面目さ」と「遊び心」の両面を表現しつつ、宇宙分野に詳しくない方々にも興味関心を持っていただくことを目指しました。ALEのシンボルである「青い球」が地球と宇宙を行き来しながら、様々なポジティブな影響を生み出していくことをイメージしています。



Exploring the Blue

謙虚かつ貪欲に「面白い」を追求する、青二才のような好奇心。宇宙空間というブルーオーシャンを文化圏に変える開拓者精神。広大な地球を、無数の星屑の一つと捉える Pale Blue Dot の視点。私たちは「人工流れ星」の発明と、その科学によって、「未来は自分で創れる」という気づきを、育て、広げていきたい。未知を楽しむ探究心が、未来を拓く一歩につながると信じて。人々の好奇心を育む世界初の宇宙エンターテインメントと、気候変動の解明に貢献する中層大気データの蓄積と活用を通じ、科学と人類の持続的な発展を、ALE は目指していきます。

Philosophy of Blue

Curiosity

謙虚かつ貪欲に「面白い」を追求する、青二才のような好奇心。2011年の発足以来変わらない、ALEを突き動かしてきた原動力です。「好奇心こそが人類を進化させる」そう信じて、今日も私たちは行動します。仲間と共に、未知を楽しみながら。

Pathfinder

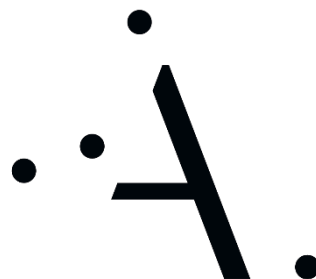
宇宙空間というブルーオーシャンを、文化圏に変える開拓者精神。ALEの内に燃えるものであり、同時に、ALEが世界中へ広げていくものです。「自分も未来を変えられる」そんな気づきをひとりでも多くに与えて、共に人類の新しい道を拓いていきます。

Evolution

広大な地球を、無数の星屑の一つと捉える Pale Blue Dot の視点。それは、2つのことを教えてくれます。人類のちっぽけさに思いを馳せる謙虚な心。人類の可能性を信じて挑戦しつづける姿勢。どちらか一方でなく、両方をあわせ持つことで、ALEは科学と人類の「持続的な発展」に貢献します。

■コーポレート ロゴ (※リファイン)

ALEの頭文字の「A」と、しし座流星群の星（特に明るい4つの星）を表現しています。CEOである岡島は、学生時代にしし座流星群を見て人工流れ星事業を着想しました。このロゴには、始まりの好奇心を忘れずに未来を開拓し進化を続けていく意志を込めています。

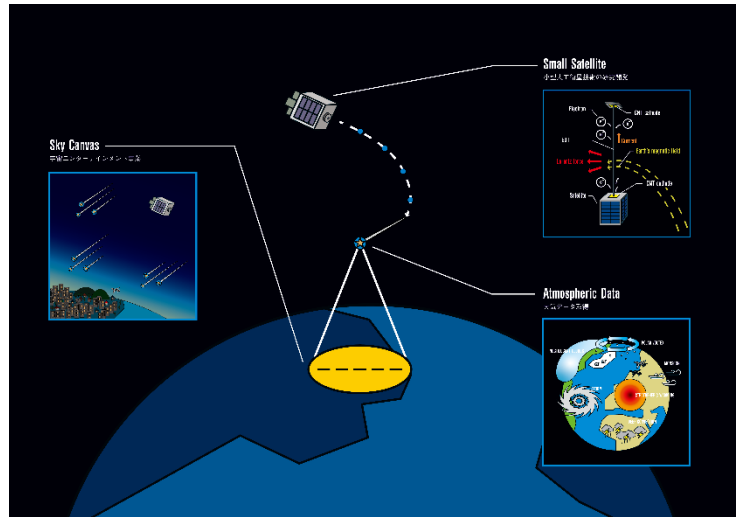


◆活動内容

ALE の活動は、3つの領域で構成されます。

- 宇宙エンターテインメント事業「Sky Canvas」
- 大気データ取得
- 小型人工衛星技術の研究開発

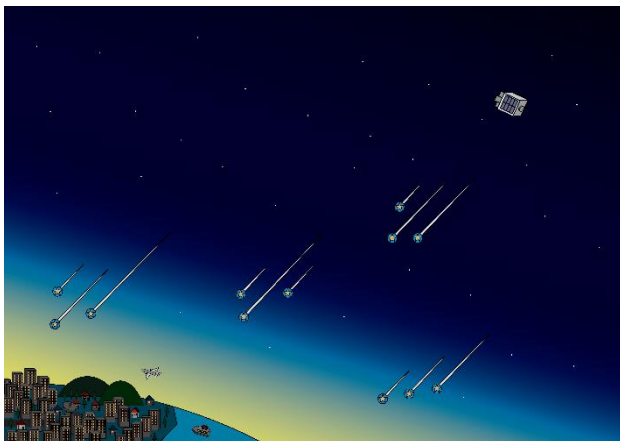
“宇宙エンターテインメント事業「Sky Canvas」”と
“大気データ取得”のステートメントおよびビジュアル
もこの度新しくなりました。



■宇宙エンターテインメント事業「Sky Canvas」 ステートメント & ビジュアル

「Sky Canvas」は、夜空をキャンバスに見立てて彩る、宇宙エンターテインメント事業です。まずは、現在開発中の人工衛星3号機を利用し、2023年に世界初の人工流れ星実現を目指しています。世界各地の指定された場所で流せる人工流れ星*で、かつてないスケールの非日常体験を創出します。また、人工流れ星に続く次世代エンターテインメントの開発も行っております。宇宙エンターテインメント事業を通じて宇宙や科学の楽しさを伝えることや、人工流れ星を観測したデータで気象現象の未知を解明することを目指しています。

*実施の際には、該当機関などによる許認可が必要になります。また人工衛星軌道により一部地域での実施ができないことがあります。

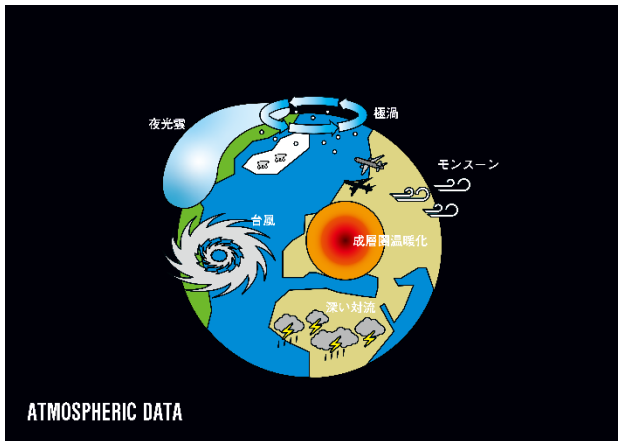


流れ星の科学で、空を彩る。

宇宙を広大なキャンバスに見立て、夜空に人工流れ星を降らすかつてない規模のエンターテインメント「Sky Canvas」。
人工衛星から「流星源」を放出する独自のテクノロジーによって、遠く離れた場所から同時に楽しむことのできる流星群を届けます。星空を見上げた全ての人が、宇宙に想いを馳せる瞬間。
そこから生まれた科学への好奇心は、また一歩、人類を前進させる源に。そして、流れ星の軌道や発光から得られた中層大気データは、様々な気象現象の未知を解明する貴重な手がかりとして蓄積されます。

■大気データ取得 ステートメント & ビジュアル

ALE 独自の人工流れ星・小型衛星・プラズマ技術を活用し、地球観測の新たな手法を研究しています。人工流れ星の軌道や発光を手がかりに、これまで観測が十分にできていなかった中層大気全域のデータを高頻度で取得。気象予測精度の向上と、気候変動メカニズムの解明に貢献します。また災害対策や、船舶・航空の経路最適化、農業・食品・エネルギー等の生産流通計画の精緻化といった分野での活用も期待されています。



流れ星の科学で、地球を紐解く。

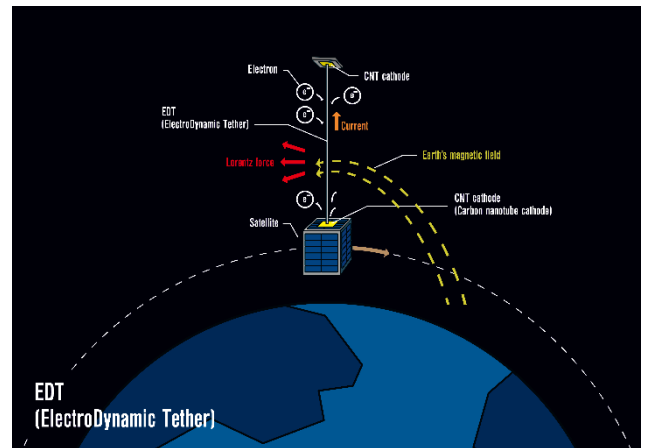
燃え尽きていく流れ星の軌道や発光を手がかりに、これまで未知とされてきた中層大気の謎を解く。

人工衛星による気象予測の半世紀以上の歴史を礎に、地球観測の新たな手法を探求します。

ALE の持つ人工流れ星・小型衛星・プラズマ技術を活用し、これまで得ることが難しかった大気データを高頻度で取得。地球上で起こる様々な気象現象の解明を通じて、基礎科学のさらなる発展と、サステナブルな社会の創造を目指します。

■（参考）小型人工衛星技術の研究開発

活発な宇宙開発により増加の一途をたどる、宇宙の飛行物体。近い将来、この物体同士が衝突することで、宇宙デブリの自己増殖・大量発生が起きると言われています。ALE は世界初の宇宙デブリ化防止装置を、宇宙航空研究開発機構(JAXA)と事業共同実証にて開発中。導電性テザー(EDT)を用いて、運用が終了した人工衛星を軌道離脱(PMD)させる技術を研究しています。



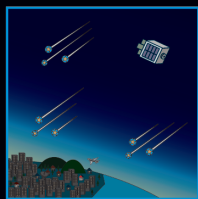
EDT を利用したデブリ化防止装置の概念図

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社 ALE 広報担当 山崎 / MAIL : pr@star-ale.com 電話 : 070-2183-7514

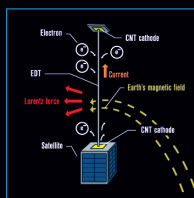
Sky Canvas

宇宙エンターテインメント事業



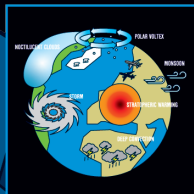
Small Satellite

小型人工衛星技術の研究開発



Atmospheric Data

大気データ取得



ALEは「科学を社会につなぎ
宇宙を文化圏にする」をミッションに
掲げる民間宇宙スタートアップ企業です

人工流れ星を始めとした宇宙エンターテインメント事業
で宇宙の美しさや面白さを届け、人々の好奇心を刺激
することで、さらなる宇宙開発のきっかけを作ります。また
宇宙から貴重なデータを取得し、地球の気候変動のメカ
ニズム解明に寄与することを目指します。両者を有効
利用し、大類の持続的な発展に貢献します。

活動紹介

宇宙エンターテインメント事業

Sky Canvas

「Sky Canvas」は、夜空をキャンバスに見立てて彩る、宇宙エンターテインメント事業
です。まずは現在開発中の人工衛星3号機を利用し、2023年に世界初の人工流れ星
実現を目指しています。地上/洋上問わず、世界各地で流せる人工流れ星で、かつて
ないスケールの非日常体験を創出します。また、人工流れ星に続く次世代エンター
テインメントの開発も行っております。宇宙エンターテインメント事業を通じて宇宙
や科学の楽しさを伝えることや、人工流れ星を観測して得られたデータで気象現象の
未知を解明することを目指しています。

人工衛星3号機 予定スケジュール

2021年内	: EM(エンジニアリング・モデル)完成
2022年中期	: FM(フライト・モデル)完成
2022年後期	: 打上げ
2023年初期	: 商用運用開始

発生原理

天然の流れ星は、宇宙空間に漂う塵が大気圏へ突入し、空力加熱という現象により
高温となり発光したものです。ALEは、人工衛星から流れ星の素となる粒(流星源)を
正確に放出し、大気圏へ突入させることで、この現象を再現します。

人工流れ星の見え方

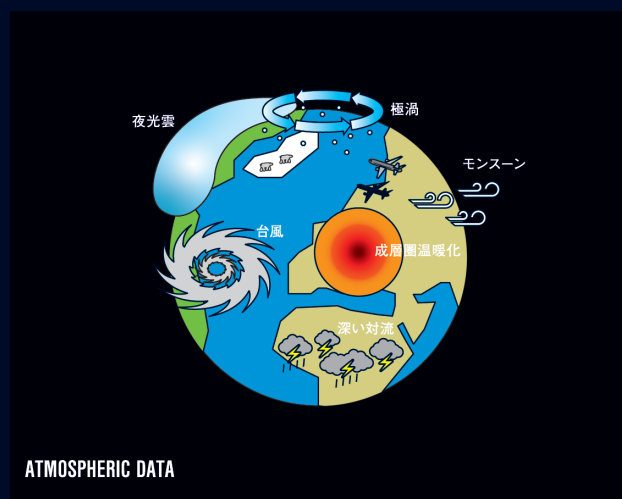
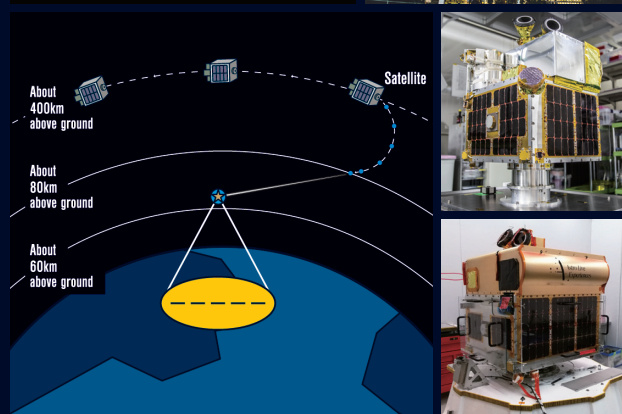
直径200kmの範囲で、街中でも観測可能なレベルの明るさを想定しています。また、天然の
流れ星と比較して、人工流れ星は長く発光し、速度もゆっくりと流れます。

大気データ取得

ALE独自の人工流れ星・小型衛星・プラズマ技術を活用し、地球観測の新たな手法を
研究しています。人工流れ星の軌道や発光を手がかりに、これまで観測が十分にでき
ていなかった中層大気全域のデータを高頻度で取得。気象予測精度の向上と、気候
変動メカニズムの解明に貢献します。また災害対策や、船舶・航空の経路最適化、
農業・食品・エネルギー等の生産流通計画の精緻化といった分野での活用も期待され
ています。

小型人工衛星技術の研究開発

活発な宇宙開発により増加の一途をたどる、宇宙の飛行物体。近い将来、この物体
同士が衝突することで、宇宙デブリの自己増殖・大量発生が起きると言われています。
ALEは世界初の宇宙デブリ化防止装置を、宇宙航空研究開発機構(JAXA)と事業
共同実証にて開発中。導電性テザー(EDT)を用いて、運用が終了した人工衛星を軌道
離脱(PMD)させる技術の研究をしています。



ATMOSPHERIC DATA

Exploring the Blue



謙虚かつ貪欲に「面白い」を追求する、青二才のような好奇心。宇宙空間というブルーオーシャンを文化圏に変える開拓者精神。広大な地球を、無数の星屑の一つと捉えるPale Blue Dotの視点。

私たちは「人工流れ星」の発明と、その科学によって、「未来は自分で創れる」という気づきを、育て、広げていきたい。未知を楽しむ探究心が、未来を拓く一歩につながると信じて。

人々の好奇心を育む世界初の宇宙エンターテインメントと、気候変動の解明に貢献する中層大気データの蓄積と活用を通じ、科学と人類の持続的な発展を、ALEは目指していきます。

Mission

科学を社会につなぎ 宇宙を文化圏にする

Vision

宇宙を、好奇心に動かされた人類の、進化の舞台にする

Value

好奇心 未知を楽しみ、周囲の人と共有する

開拓 既成概念を越え、共に新しい道を拓く

進化 科学の発展を助け、人類の持続的な発展に貢献する

会社概要

社名：株式会社ALE(エール)

本社住所：〒105-0012

東京都港区芝大門2-11-8

住友不動産芝大門二丁目ビル2階

代表者：代表取締役社長／CEO 岡島礼奈

設立：2011年9月1日

事業内容：宇宙エンターテインメント事業「Sky Canvas」、大気データ取得、小型人工衛星技術の研究開発

代表メッセージ

ALEには「科学の発展に貢献したい」という熱き思いがあります。科学は、人類の持続的な発展に必要不可欠だと考えるからです。

天文学を専攻していた私は、日本の基礎科学の研究が主に公的資金で賄われていることや、研究者の皆様が予算獲得のために膨大な苦勞をされていることを知りました。そして公的資金に頼る以外の仕組みを作れば、今まで以上に基礎科学が発展するのではないかと考えました。

人工流れ星のアイデアは、大学の同級生達と2011年のしし座流星群を鑑賞していた時、「流れ星は人工的に作れるのではないかと発想したことから生まれたものです。もし人工流れ星が実現できれば、沢山の人が楽しめるエンターテインメントとして利益を得つつ、科学を研究できるのではないかと。その思いから、株式会社ALEを設立いたしました。

近年、テクノロジーは急速に発展しています。変化に適応しつつ科学やテクノロジーと人類の関係性を模索していくことが、これからの企業の責任だと感じています。

ALEは自らの進化と、時代の変化と要請に応える新しい価値を生み出す挑戦を続け、事業の拡大を図ります。今後も未知を楽しむ好奇心を原動力に新たな道を切り拓いてまいります。

代表取締役社長 / CEO 岡島 礼奈



鳥取県鳥取市出身。東京大学大学院理学系研究科天文学専攻にて博士号(理学)を取得。在学中に、サイエンスとエンターテインメントの会社を代表取締役として設立。大学院卒業後、ゴールドマン・サックス証券へ入社。その後、2009年から人工流れ星の研究をスタートさせ、2011年9月に株式会社ALEを設立。

素材のダウンロード



広報連絡先

株式会社ALE 広報担当 山崎

MAIL pr@star-ale.com 電話 03-6441-3312 070-2183-7514

